

子どもたちがプロと一緒に伊豆の国市を取材して発信するローカルマガジン  
【IZUCCO】 Vol.3



#いづから



vol. **3**  
Take Free

# いい伊豆の国市の

ともだちに教えたい!

伊豆の国市の  
**自然**  
Nature

ツリークライミング・たき火体験  
乗馬体験



まりん

伊豆の国市の  
**食**  
Foods

ひらい精肉店  
増島農園



せいら

伊豆の国市の人  
ピオーネ種の原木を守る  
加々見 宏子 さん  
伊豆の国市長  
山下 正行 さん

伊豆の国市の歴史  
歴パスのる〜ら  
葎山反射炉 / 江川邸



こどもローカルマガジン  
**COLOMAGA**  
コロマガプロジェクト project  
伊豆の国市

伊豆の国市の未来を支える子どもたちとプロが創る地域情報誌  
**IZUCCO** 2022年11月発行 (IZUCCO Vol.3) <https://izucco.com>  
IZUCCO制作実行委員会 静岡県伊豆の国市原木627 代表 中野あゆみ  
IZUCCOは「伊豆の国市市民提案型パートナーシップ事業」として実施しています。





タイトル題字 / Vol.1 メンバー まこ

## CONTENTS

### 伊豆の国市の自然

- 04 ツリーライミング【earthcolor】
- 05 たき火体験【earthcolor】
- 06 乗馬体験【伊豆の国うま広場】

### ともだちに教えた！伊豆の国市の食

- 08 伊豆牛【ひらい精肉店】
- 09 白あわびだけ【増島農園】

### ともだちに教えた！伊豆の国市の人

- 10 加々見宏子さん【サン・ヴァンサンファーム】
- 11 山下正行さん【伊豆の国市長】

### 歴バスのる～らで巡る！伊豆の国市の歴史

- 12 歴バスのる～ら  
菰山反射炉 / 江川邸

- 13 MAP
- 14 編集後記
- 15 コロマガプロジェクトの活動について

### コロマガは「ESD」の実践活動

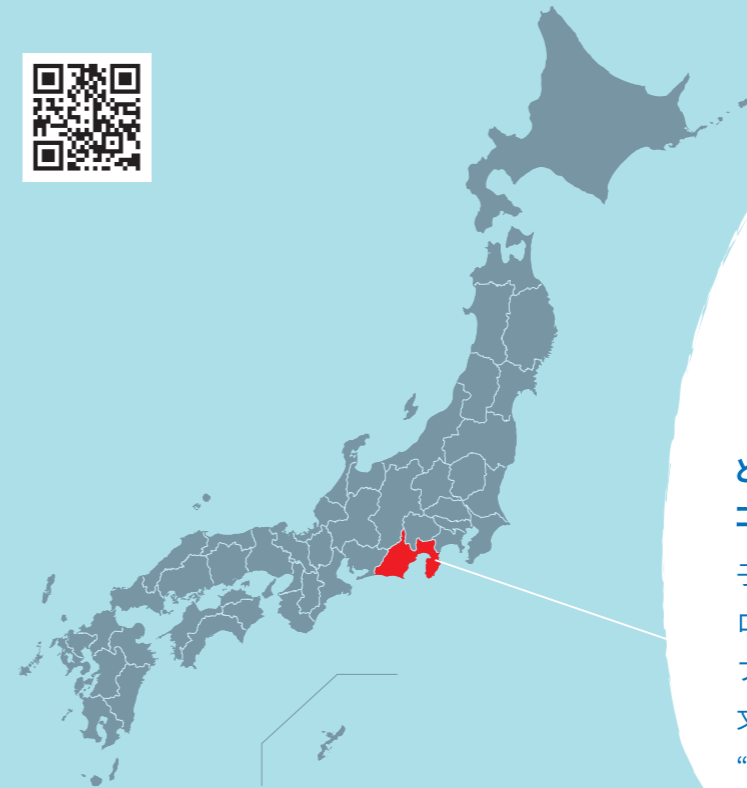


2013年度に産声をあげたコロマガは、子どもたちがこの制作を通して地域に愛着や誇りをもち「持続可能な社会を創りたい」という気持ちを育てられる実践的な活動と言えます。この「持続可能な社会の創り手を育てる教育」がESD (Education for Sustainable Development) と呼ばれているものです。同じ頃、2015年国連サミットで世界のリーダーが集まって2030年までの目標を定めました。これがSDGs (Sustainable Development Goals) といわれる17の目標と169のターゲットからなるものです。今、世界中でこの目標を達成するために官・民・学のあるゆる機関をあげて取り組んでいます。そしてこのSDGsを達成するためのエンジンがESDであるといわれています。

子どもたちの未来のためにみんなでコロマガの取り組みを応援してください。



ESD-J理事 大塚明



## COLOMAGA Project 伊豆の国市版



ともだちに教えた！伊豆の国市の“いいところ”をコンセプトに制作しました。

子どもたちがクリエイターとコラボレーションして創ったローカルマガジン(地域情報誌)が、この「IZUCCO」です。プロに写真撮影技術や取材の仕方、イラストの描き方、文章の書き方のレクチャーを受けた子どもたちが、“伊豆の国市のいいところ”を取材して、まちの魅力を表現しています。

## こどもローカルマガジン COLOMAGA コロマガプロジェクト 伊豆の国市 project

わたしたちは、  
コロマガプロジェクトを通して  
こんな社会を実現していきたいと  
思っています。

IZUCCOでは、ローカルマガジンを作る子ども記者をサポートしてくれる、中学生、高校生、大学生の仲間を募集しています！まちを取材したり、冊子を作る等、地域での活動に興味のある方は制作実行委員会までご連絡ください！

連絡先: info@izucco.com

ふるさとの良いところを知って自慢できる子どもたちが  
増えること

ひとりでも多く自己肯定感の高い子どもたちが  
増えること

地域コミュニティに関心を持つ大人と子どもたちが  
増えること

子どもたちの創造性・独創性を  
育み活かす機会が増えること

「デザインの力」を理解できる子どもたちが  
増えること

ふるさとに住みたい、ふるさとで働きたいと思う子どもたちが  
増えること

一緒に何かを創り出す大人と子どもたちの関係が増えること

## こんなことが増えれば、日本の未来は明るい！

ツリークライミング文/あいみ、あすみ、あやみ、せいら、たくみ、もえ、ゆい  
たき火体験文/あかり、かずき、けい、なつみ、まい、るな

一番高い木はなんと  
10mの高さ!!



「アースカラー」とは「地球を遊ぼう」という思いでつけた名前だそうです。おいしい空気を吸って、自然の素晴らしさを再確認できますよ。さあ、君も伊豆の国市のアースカラーで、地球を遊ぼう!

わ」と聞こえました。木の音って良い音だな気が付くとけっこう高いところまで登ってました。木の上の方には、ツリーボードというシートがあって、私はそこに座りました。少し前まで上に見えていた木の枝は下の方にとでも小さく見えました。ふだん木の上に登ったり座ったりしないので、とてもふしぎな感覚でした。どんどん登ると高くなってきて、こわいでも自然にかこまれて、気持ちいい!と楽しくなってきたので、一度下に降りてから、また違う木にも登りました。

# 01 Nature

## ツリークライミング・たき火体験

「高い、高すぎる。」空へと続く木はなんと10メートル。木のささやくような音。葉っぱの間から届く光。登れるのだろうかという不安とともに、すごくワクワクしている。



### 自然をまるごと遊ぶ楽しさ

#### ツリークライミング

ツリークライミングは、ロープなどの道具を使って行え、自然を楽しむための木登りです。この日は夏の暑い日だったけれど、緑がたくさんあるとても涼しい森の中で体験しました。ツリークライミングを教えてくださいましたのは、野竹淳一さんと、丸山裕輔さんです。自然の中で遊ぶことを気軽に楽しんでもらいたい!と考え、この仕事を始めたそうです。ツリークライミングで登る木で一番高いものは10mほどです。とても高いですね。そ



マッシュマロを  
焼いたよ!

### 火がついた瞬間のうれしさ

#### たき火体験

「やったあ。ついた!」火がついたとき、うれしくて思わず言ってしまうました。

夏の暑い日、私たちはバービー先生こと馬場龍一さんとたき火体験をしました。火起こしは、まず風向きを確認してから、場所を決めます。風向きによっては火がつかせません。また、風で火が近づくものに燃え移る可能性があるため、テントの風下になります。きちんと確認してからやりましょう。次にたき火の材料を集めます。まず、湿っていない乾いた木の枝をたくさん集めます。自分の力で折れるぐらいが良いです。水分をたくさん含んだ枝は折れにくく、燃えにくいので、その他に枯れた杉の葉を使います。材料を集めたら、太さで分け、いよいよ火を起こします。でも、太い木の枝に火をつけようとしてもつかないので、火起こしをする台の真ん中に杉の葉やまつぼっくりを置いて、その上に細い枝を置いていきます。そ



**野竹みゆき**さん (earthcolor 代表)  
自然の中でのもんぶりすることが大好き。アースカラーの看板の絵はみゆきさんが描いています。子供の成長が楽しみなんだそう。

**野竹淳一**さん (earthcolor 体験サポーター)  
愛称は「のたさん」  
好きなことは自然の中で遊ぶこと。理由は、場所や時間で見えるものが変わるから。好きな食べ物は採れたての野菜。

**丸山裕輔**さん (Mother Tree ふおーらむ)  
愛称は「へっほこ隊長」  
好きなものはおにぎり。

**馬場龍一**さん (Eco Tour Guide LINKS代表)  
たき火体験を教えてくださいました通称「バービー先生」

うしたら、一番最初に入れた杉の葉まで届く穴を作ります。水を用意したら、風が吹いていないときにマッチを使って、真ん中の杉の葉に火をつけます。手を杉の葉に近づけても、火がつかなくて難しかったけれど、やっとついたときはすい連成感がありました。火起こしに成功した後は、マッシュマロを焼きました。網をおいて焼き肉をしたり、キャンプファイヤーなどをしたり、人それぞれのやり方で楽しむのもいいですね。

たき火は心まであたためてくれるから、みなさんもぜひアースカラーでたき火体験してみてください。

んな高い木に普通に登るのはとても危ないのですが、ロープを使えば安全に登ることが出来ます。野竹さんと丸山さんが、体にハーネスというベルトをつけて、そこにロープを引っかけて登るやり方を丁寧に教えてくれました。まずツリークライミングを始める前に、木に手を当てて、自分が登る木にあいさつをします。「今日はよろしくお願いします。」と心の中でつぶやいてから、木のとっぺんからつながらるロープと、自分のハーネスをつなぎます。小さいこぶを上にあげる。輪っかになっ

た足元のロープに足をひっかけて立つ。大きいこぶを上にあげる。それを繰り返すことで、上に登っていくことが出来ます。やってみると、最初はロープがぐらぐらしたり、やり方を間違えたりしてうまくできなかったけれど、やっていくうちに、だんだんできるようになりました。下の方は木の枝などがあって登りにくかったけれど、高いところに着いた時はまるで物語の中に入り込んで空中に浮かんでいるような感覚でした。鳥のなき声やセミの声も聞こえました。一番高いところまであと少し。手が疲れてきたので途中で休むと、さわざわ、さわざわ

## earthcolor

〒410-2113 静岡県伊豆の国市中1606-71  
TEL: 055-918-7968  
<https://earthcolor-izu.jimdofree.com/>





まりん 与那国島から来た小さな馬とふれあえる!

# うま広場



わか



あかり



# 01 Nature

与那国馬 (よなくにうま)  
日本在来馬の一種で「体高がおよそ110~120cmの小さな日本原産の馬。」  
日本の最果てにある与那国島にずっと昔から暮らしてきた馬が伊豆の国市にいます。



最初はむずかしかったけれど、上手に乗れるように。



ポロ拾いも  
とっても大切!



## 与那国馬ってどんな馬?

みなさんは伊豆の国市に与那国馬よなくにうまがいることを知っていますか?

沖縄県にある与那国島から来たためずらしい馬で、一般的な馬よりも少しからだ小さく、目がぱっちりしています。ふだんはふつうの馬がこわく見えてしまうけれど、思わず「かわいい!」と言ってしまいました。

その与那国馬がいるのが、伊豆の国市にある「伊豆の国うま広場」です。森の中にそこだけ広い芝生があって、びっくりしました。馬は5頭いて、乗馬やエサやりなどができます。時々、高校生や大学生も、与那国馬のお世話を手伝っているそうです。

わたしたちは与那国馬のお世話をしました。お世話で大切なことは2つあります。1つ目はエサを与えることです。エサはこい色とうすい色の2種類があるので、量を量って食べさせます。鼻がいいからけっこうグルメで、広場に生えている草の中から、好きな草をかき分けて食べたり、おやつにはにんじんを食べたりするそうです。

2つ目は、馬はエサを食べるとうんちを出すので、ほうきなどでうんちをお掃除してあげます。これを「ポロ拾い」と言います。「ポロ」とは馬のうんちのことです。きれいに掃除をしないと、馬にもストレスになってしまうので、しっかりお掃除してあげます。

他にも、与那国馬にブラシをかけたり、ひづめをきれいにしてあげました。ほかの馬は、からだの色が黒とか白とか茶色とか色々ありますが、与那国馬は茶色だけだそうなんです。また与那国馬のひづめは固く、ひづめを守るための蹄鉄ひづめくさは必要ないので、代わりにひづめの汚れをとってあげるお世話も大切です。馬のからだに触ってみたら、毛がとろとろして

いて、あたたかくて気持ちよかったです。

あたたかいところで生まれた馬なので、寒さに弱いそうです。なので冬は服を着せています。「馬専用の服ってどんなもの?」と思った方は、冬に伊豆の国うま広場に行ってみるのもいいですね。

与那国馬の背中に乗って乗馬もしました。最初は足の動きがむずかしくてバランスがとりにくかったけれど、最後は息を合わせて上手に乗れるようになりました。

伊豆の国うま広場の与那国馬は、おとなしくて優しい馬です。いろんな持ちようがあって、かわいい馬たちと遊んでみてはいかがですか?



高橋美恵さん  
(伊豆の国うま広場 代表)  
与那国馬をこよなく愛する高橋さんの好物は、ビール。



もえ

## 伊豆の国うま広場

〒410-2113 静岡県伊豆の国市

(伊豆にらやまカントリークラブ近く)

TEL: 080-6040-4792

<https://izunokuniumahiroba.jimdo.com/>

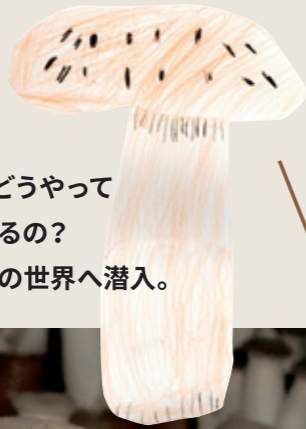


あやみ

文/あいみ、せいら、もえ、まりん、わか

# 増島農園

せいら



ねお

きのこってどうやって  
作られているの？  
ふしぎな菌の世界へ潜入。

白あわびだけって  
どんなきのこ？



**暗くて寒い、きのこを育てるといって**

増島農園の、増島健太郎さんと暁子さんに取材をしました。

原木にある増島農園さんでは、白あわびだけ・ヤナギマツタケ・タモギダケを育てています。

わたしは、白あわびだけと聞いて「白あわびだけってなんだろう」と思いました。白あわびだけ、あわびだけは、エリンギと同じ種類だけれど、あわびみたいな食感だから白あわびだけと言っています。

最初に、白あわびだけを育てる時に土となる「おがくず」を見ました。杉の木が吹いたら今にも飛んでいってしまいうまくない軽かったです。おがくずの雑菌を殺す為に、ボイラーの熱を6時間加えてから、きのこの用の培地としてビンの中に入れてきのこを植えます。

次に培養室に行きました。暗い20度位の部屋でも寒かったです。この時は培養をしている段階で白いものは菌糸だそうです。34〜38日までビンの中で育てます。きのこは、ビンの中以外では育てられないそうです。培養室を出たら湿度を出すために湿度85%・温度17度の部



**暗くて寒い、きのこを育てるといって**

最後に収穫室で、収穫体験をしました。手で簡単に収穫できました。1つのビンに、1本から3本くらい大きくなっているものがあります。その横に、小さい2センチ位のきのこも生えてきていました。ビンに植えてから、90日ほどで収穫でき



増島健太郎 さん  
(有限会社増島農園 代表取締役)  
好きなことはドラマやベースを演奏することや音楽を聴くこと。  
給食にもきのこを使っていたいです。おいしく食べてね！

## 有限会社 増島農園

〒410-2124 静岡県伊豆の国市原木932  
TEL: 055-949-4655  
<https://masujimanouen.com/>



あいみ

白あわびだけは、鍋やバター炒め・スープなど何にでも使えておいしいそうです。タモギダケは黄色ですが、茹でると白色になるとい話を聞いた時びっくりしたのと同時にふしぎだと思いました。自分で収穫した白あわびだけとヤナギマツタケ、タモギダケをお土産に頂きました。お家で3種類のきのこ定食を作りました。おいしかったので、増島農園さんのファンになりました。また買いに行きます。

# 02 Foods

伊豆が誇るおいしい牛肉、伊豆牛。  
大人気の牛メンチやコロッケ、  
そのおいしさのひみつに迫る！



たくみ

文/けい、たくみ、つばき、ゆいと

# ひらい精肉店



**衣サクサク、中ジューシー！**

伊豆牛を使った牛メンチやコロッケが大人気のひらい精肉店は、大仁橋の近くにあります。

いつもお客さんでいっぱい、1日に2000人〜3000人くらいの人が買い物にきます。伊豆牛のほかにも豚や鶏のお肉や、コロッケなどのお惣菜を扱うことができます。

伊豆牛とは、ひらい精肉店が持っている、ひらい牧場だけで育てている牛で、黒毛和牛とホルスタインの子供、だそうです。

人気のコロッケには、その伊豆牛をたくさん使っているそうです。なんと、1日約450個も作っていて、1つ1つスタップさんが手で丸めています。そして必ずお店に出す前に味見をするそうです。でもこれだけ作っても、昼には売り切れてしまうほど人気があるんだそうです。



るな



平井大介 さん  
(ひらい精肉店 店主)  
こま肉やひき肉がおいしいお店は、良い肉屋さんだよ。



## ひらい精肉店

〒410-2323 静岡県伊豆の国市大仁493-1  
TEL: 0558-76-0298  
<https://hiraionikuya.wixsite.com/izugyuhirai>



文/あやみ、もえ、あかり、ゆいと、るな、かずき、つばき

意思があれば道はひらける

If you have the will  
you can open the way.



山 伊豆の国市長

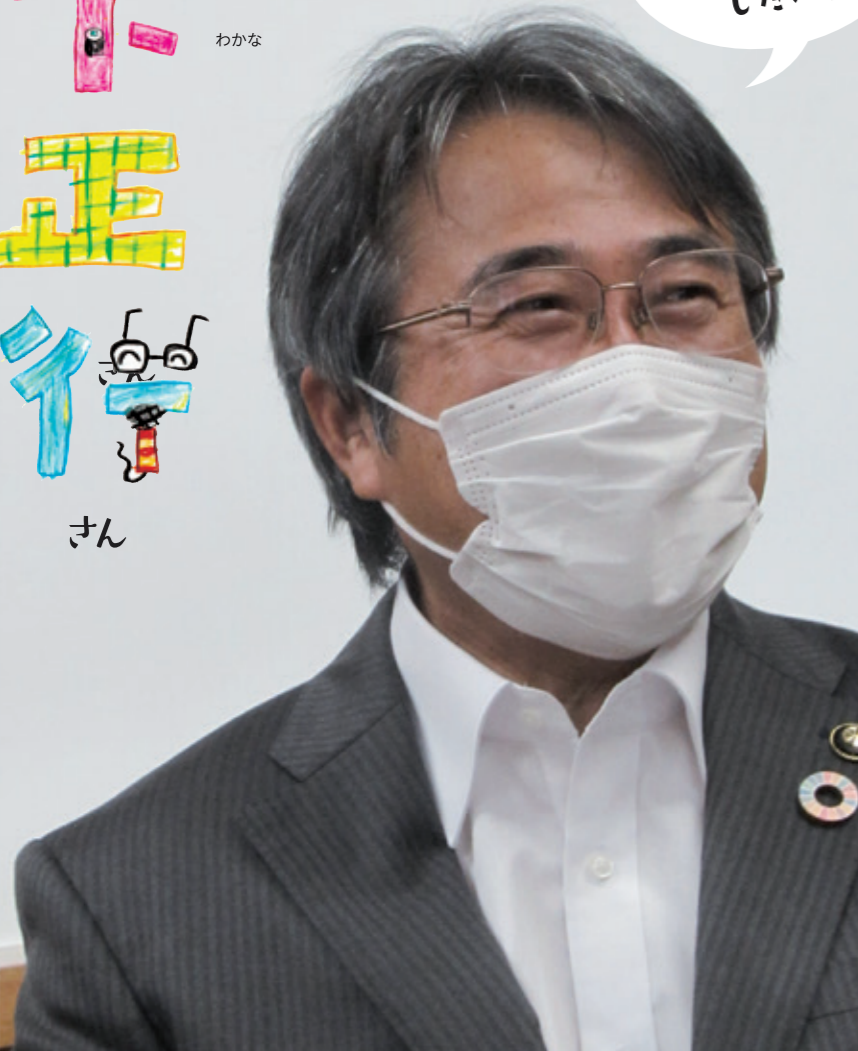


子どもたち  
みんなの笑顔が  
あふれるまちに  
したい！

下 わかな

正

さん



People

伊豆の国市に暮らす  
すてきな人たち

市長の仕事と責任

みなさんは、市長がどんな仕事をしているか知っていますか？山下正行さんは自分のふるさとを良くしたい、伊豆の国市を良くしたいの思いで市長になったそうです。そして市長になった時は、とてもうれしかったけれど責任を感じたそうです。

山下市長が実現させたいまちは、子どもたちやみんなの笑顔があふれるまちだそうです。まちづくりでの主役は、市長ではなく市民である。政策は市民のみんなの意見を聞いて、そこから考えるそうです。1つ目の仕事は、市民のためにも地域を元気にすること、2つ目は、市民の中で困っている人を助けることです。伊豆の国市の良いところを山下市長が教え

てくれました。1つ目は、自然がたくさんあるところ。2つ目は歴史のあるまちということ。3つ目はいろいろなアクティビティ体験ができること。4つ目は海にも近いところ。5つ目は食べ物がおいしいところ。直したいと思うところは、1つ目は道が狭いところ。2つ目は水害が起こる可能性があることだそうです。

語が大の得意で、石集めが好きだったので、学者になりたかったそうです。お給料は月に80万円だそうです。これでも全国の市長のなかでは少ないそうで、とても驚きました。市長には娘さんがいて、孫の男の子もいます。市長の性格はやさしくて、人を笑わせることが好きだそうです。優しいおじいちゃんなんだろうと思います。市長の趣味はカラオケと料理で、よくパスタを作るそうです。好きな食べ物はいくら、寿司や焼き鳥という日本食も好きで、嫌いな食べ物は、にんにくだそうです。伊豆の国市でよく行く所は、葦山時代劇場の近くで、朝は犬と散歩に行くそうです。そんな山下市

長の好きな言葉は「意思があれば道はひらける。」生まれ変わっても公務員になりたいとおっしゃっていました。最後に小学生に伝えたいことを聞いてみました。「夢にむかってがんばってください。努力をすれば道ができる。いっぱい遊んで楽しく過ごしてね。」とメッセージを頂きました。

わたしたちが住んでいる伊豆の国市は、こんなに優しい市長に守られています。わたしたちの暮らしを支えてくれていてありがたいと思いました。

文/あやみ、かずき、なつみ、まい

Airoko Kagami

あやみ

サン・ヴァンサンファーム

かがみひろこ

加々見 宏子 さん



17年間  
ピオーネの原木を  
守っています



かずのり

加々見さんが一つ一つ丁寧に育てたピオーネを、ぜひ皆さんも食べてみてください。

「ピオーネのことは、自分の子どもみたくてかわいから、これからも大切にしたい。」と話す加々見さんは、毎日心をこめて、ぶどうに話しかけながら育てています。加々見さんの夢は「いつか自分で新しい品種のぶどうを作る」ことです。伊豆の国市の豊かな自然をもっと活用していきたいとも思っています。

食べられたり、特に大変なのは、病気やウイルスでなんと一晩で病気が広がってしまったこともあったそうです。加々見さんはいろいろな対策をしてがんばっていますが、いつも人間と自然との知恵比べだと言っていました。

おじいさんが作った大切なぶどうを守り続ける  
みなさんは、ピオーネというぶどうの発祥地が伊豆の国市ということをご存知ですか？わたしは知らなかったのですが、びっくりしました！そのピオーネの原木を守り育てているのが、加々見宏子さん。そして、ピオーネを作ったのは、加々見さんのおじいさんである井川秀雄さん。秀雄さんは「伊豆錦」「天秀」「紅伊豆」「紅瑞宝」など、生涯で1000種類以上のぶどうを育種した人で、その中でも最高傑作といわれるピオーネは、今から約60年前にできました。

加々見さんは子どもの頃におじいさんが作ったおいしいぶどうを食べていました。でも、跡継ぎがいなくて、誰もぶどう畑の手入れをしなくなり、ピオーネが枯れたり、ますぐなったりしているのを見て「なんとかしなければ！」と思ったそうです。それから17年間、ピオーネの手入れをして、原木を守ってきました。ピオーネは、イタリア語で「開拓者」という意味で、ピオーネのお父さんとお母さんは、巨峰とカノンホールマスカットという品種です。特徴は色が黒く、味が濃く、甘いだけではなく、甘み・渋み・酸味のバランスが良いこと

です。ピオーネの旬は8月の終わりごろです。ピオーネ発祥の地は伊豆の国市なのに、どうして山梨のぶどうのほうに有名なのかというと、実はピオーネを作った井川秀雄さんが、大きなぶどうの品種を探していた山梨の人たちにピオーネを分けてあげたから。「山梨はピオーネの育ての親。伊豆は、生みの親。」なのです。ピオーネを育てるには大変なことがたくさんあるそうです。天気が悪いと味が良くなりません。かたたり、ハクピシヤムクドリ、カラスなどに



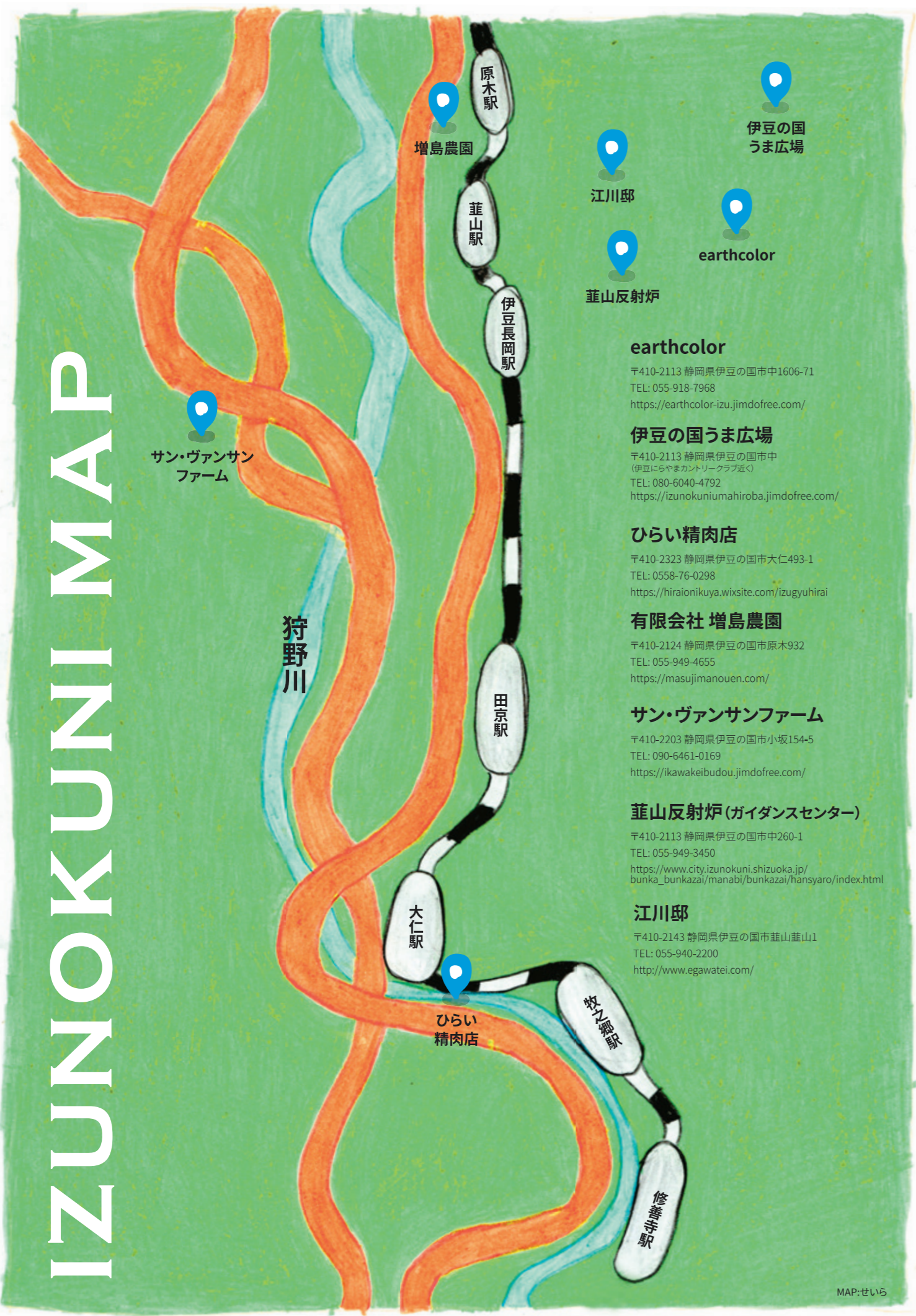
かずのり

サン・ヴァンサンファーム

〒410-2203 静岡県伊豆の国市小坂154-5  
TEL: 090-6461-0169  
https://ikawakebudou.jimdofree.com/



# IZUNOKUNI MAP



MAP:せいら

## History

### 伊豆の国市の歴史をもっと知ろう!



ゆい

という免震構造になっています。江川太郎左衛門英龍といえば、反射炉の他に日本で初めて大規模なパン製造を行ったとして知られています。昔のパンは今のようになかなか柔らかくはなく、とても硬いものでした。少し食べて、水をたくさん飲むという食べ方で、おなかをふくらませていたようです。今のフワフワのパンを英龍さんが食べたらびびくりすると思います。また日本で初めてヨットを作った人でもあります。その他、代官として年貢を集めたり、

江川太郎左衛門英龍の努力と歴史が詰まった葦山反射炉と江川邸に、みなさんも行って下さい!



るな



ゆい

【重要文化財】  
**江川邸**  
〒410-2143  
静岡県伊豆の国市葦山葦山1  
TEL: 055-940-2200  
http://www.egawatei.com/



歴史ガイドの鈴木麻佑さん

【世界文化遺産】  
**葦山反射炉**

(問合せ) 葦山反射炉ガイドセンター  
〒410-2113  
静岡県伊豆の国市中260-1  
TEL: 055-949-3450  
https://www.city.izunokuni.shizuoka.jp/bunka\_bunkazai/manabi/bunkazai/hansyaro/index.html



みおな



【観光周遊型バス】  
**歴史バスのる〜ら**  
(問合せ) 観光文化課  
〒410-2292  
伊豆の国市長岡346-1 あやめ会館1F  
TEL: 055-948-1480  
https://www.city.izunokuni.shizuoka.jp/kankou/machizukuri/koutsukekaku/hansyaro\_bus/hansyaro\_100bus.html



Pekibus norura

歴バスのる〜らで巡る!  
伊豆の国市の歴史

文/あかり、せいら、たくみ、なつみ、まりん、もえ、ゆいと、るな

伊豆長岡駅から伊豆の国市の歴史スポットをめぐる歴バスのる〜ら「つぎえもん号」に乗りました。ピンクのかわいいラッピングバスでした。まず、葦山反射炉に向かいます。「ドン！」と大胆に立っていた葦山反射炉。写真で見ただけでは見えたことがあったけれど、本物を見るのは初めてでした。写真ではそのふんいきや大きさ、素材なども分からないので「これってそんなにすごいのかな？」とあまり期待していませんでしたが、本物を見てみるとすごい迫力でびびりました。世界文化遺産にも認定された葦山反射炉。



ピンクのバスで  
出発進行!!



世界文化遺産  
葦山反射炉

実際に大砲が造られた反射炉で、日本で唯一残っているのは、葦山反射炉だけなんだそう。伊豆の国市に世界遺産があるのはすごいですね！日本で初めて造られたえんとつです。葦山反射炉は、外国から日本を守るために、江川太郎左衛門英龍がオランダ語で書かれた一冊の本を参考に、独学で造りました。反射炉は大砲を作るための鉄を溶かす炉のことです。ドーム型の炉の中で熱を反射させることで、高い温度を作り出し、鉄を溶かしたことでこの名前がつけました。



重要文化財  
江川邸

反射炉は火に強くなくてはいけないので、耐火レンガが使われています。26,000個ある耐火レンガは一つ一つ手作りなんです。すごいですね。次に向かった江川邸は、江川太郎左衛門英龍が住んでいたお家。400年以上前に建てられました。入ってすぐの土間の大きさにびっくり！土間に立って上を見上げると、とても天井が高く、たくさんの木が組み合わさっていてきれいでした。このネジやクギが使われていない建て方を「小屋組」といい、今

犯罪を取り締まったり、宿場や街道の管理をしたりと、様々な分野にわたって多くの仕事をしてきたのが、すごいなと思いました。

# 子どもたちの創造性を育てて地域をつなげる活動です。

創造力は生きる力。何かを創り出すことが楽しければ、創ったものは人のためになり、社会をより良くして、地域のつながりが強くなります。

## わたしたちの活動

「COLOMAGA Project」は子どもたちが自分の住む「まち」取材し、大人たちとプロのクリエイターと一緒にその「まち」オリジナルのローカルマガジン（地域情報誌）を作るプロジェクトです。大人たちは、その子どもたちのさまざまな活動を支え、異種多世代の交流を促進していきます。自分の住んでいるまちの楽しい情報を、そのことを知らない人たちに伝えるため、知らない人と出会い、コミュニケーションを取り、自分のセンスで写真を撮って、イラストを描いて、文章を書くために専門家から様々なレクチャーを受けます。そこで教わったスキルを活かして、ローカルマガジン（地域情報誌）をつくりまします。

子どもたちが、取材を通して出会った人たちとのコミュニケーションは、世代を超えた交流やキャリアの体験となり、出会った人たちが教えてくれた、その「まち」の魅力を知れば知るほど、自分の「まち」が好きになっていきます。自分の「まち」が好きになると、その「まち」が自分の居場所になっていく。そしてその「まち」のために何が出来るだろうと考えられる人が一人でも多く育って欲しい。COLOMAGA Projectはそんな思いで活動しています。

## SDGs ESD-J KIDS DESIGN AWARD

わたしたちの活動は、SDGs【持続可能な開発のための2030アジェンダ】の17のゴールのうち「No.4 質の高い教育をみんなに」「No.11 住み続けられるまちづくりを」を実現するための実践者として、ESD-J【持続可能な開発のための教育】の「未来を変える人づくり」活動として高く評価されています。その活動が認められ、2018年、経済産業省が制定した「子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門」において、キッズデザイン賞を受賞することができました。SDGs、キッズデザイン賞と広く社会に認められた活動を通して、未来を担う子どもたちの育成と地域づくりに貢献できればと思います。



## ぜひ、この活動をサポートしてください

### 1 この活動にぜひ参加してください！

子どもたちの創造性を活かす機会として、雑誌をプロと一緒に作るこの活動に参加してください。作る側でなくても、地域の大人のひとりとして、自分の経験や知識を子どもたちと地域のためにぜひ活かしてください！もし、ご自分で子どもたちと一緒に地域情報誌をつくりたい方は、ぜひご相談ください。わたしたちの仲間が、企画・告知・集客・取材・制作・デザイン等についてノウハウを提供し、サポートさせていただきます。

### 2 コロマガプロジェクトがもっと有名になるのをサポートしてください。

COLOMAGA Project発足当時、小学生として参加した子どもたちは、もう大学生になりました。その子どもたちが自分の中の変化や、地域に対する思い、活動への思いを、みなさまの前で講演させていただきます。また、これまでの活動内容や実績を、主催者の大人たちが、みなさまの前でお話いたします。この活動の効果、実績を知りたい方がいらっしゃいましたら、ぜひ事務局までお問い合わせください。

### 3 活動が継続できるように、資金のご支援をお願いいたします。

この活動に賛同していただけたら、ぜひ活動資金のご支援をいただければと思います。

#### 【法人の方へ】

次世代を担う子どもたちの育成は、CSR活動やSDGsの推進の一環にもなり、企業としての社会的な責任を果たすことができます。ぜひご相談ください。

#### 【個人の方へ】

ご寄付は下記の振込先、または制作実行委員会まで直接お持ちください。

#### 【ご支援いただきました方へのお礼】

- 冊子とホームページにお名前を掲載させていただきます。（希望者のみの掲載になります。）
- 完成した冊子をお送りさせていただきます。

ご寄付の振込先  口座名  イズッコセイサクジッコウインカイ

★ ゆうちょ銀行  
 二三八（ニサンハチ）店／普通 5029937

★ クレジットカードでのご寄付はコチラをご覧ください  
<https://izucco.com/kifu>



※お振込の際は、お名前（漢字）と連絡先を  
 メール【[info@izucco.com](mailto:info@izucco.com)】等でお知らせください。



あいみ あかり あすみ あやみ  
 かずき かずのり けい せいら たくみ つばき なつみ ねお  
 まい まりん みおな もえ ゆい ゆいと るな わかな

浅井 由剛 COLOMAGA project 代表、京都芸術大学 准教授  
 クリエイターチーム カラフル 代表



自分が生まれたところや住んでいるところを調べることは、自分自身にしっかりと向き合っていることと同じです。自分自身と向き合うのは、アーティストやデザイナーの基本中の基本。そこから世界を変えるようなアイデアが生まれる可能性があるかも。

貴家 蘭 IZUCCO制作実行委員



子どもたちの、伊豆の国市愛を高めたい！と実行委員へ参加しました。参加した子供たちが、IZUCCOを自慢して、地域愛がどんどん伝染していったら嬉しいです。



古屋 絵里



小林 杏奈



松尾 泉



西島 ゆかり



谷崎 あやみ



堀江 弓子



高井 千晶



サポート  
 スタッフ

中野 あゆみ IZUCCO制作実行委員会 代表  
 株式会社わたしたち 代表取締役



子どもたちが伊豆の国市の「いいところ」について、街の大人たちからよく聞き、思い切り表現しています。子ども記者のみんなが、10年後、20年後も、伊豆の国市の「いいところ」を伝え続けてくれると信じています。

澤田 康子 IZUCCO制作実行委員



IZUCCOを通して、子どもたちの生きる力が着実に培われてきていることを実感したVol.3です。ここで学んだことが、子どもたちの成長・そして未来につながっていくことを楽しみにしています。

川口 敦 IZUCCO制作実行委員  
 ISABUYA CREATIVE



大人の視線をちょっとだけ下げ、子どもたちの視線にしっかりと合わせて、大人も子どもも楽しみながら視野を広げ、伊豆の国市の素晴らしさをみんなが発信していければと思います。

## IZUCCO 制作実行委員会

## クリエイター講師

橋向 真



とにかく深い富士山撮る人  
 写真家

自分の好きな事を探して、好きな事に夢中になって、好きな事で世の中に羽ばたいて下さい！

小澤 佑太郎



静岡新聞社大仁支局長

IZUCCOの制作、お疲れ様でした！伊豆の国市の魅力をたくさん知れたと思います。取材の楽しさにも気付けたのでしょうか？これからも地域の良いところに注目し続け、今後知り合ういろいろな人に紹介してみてください！

斎藤 遥加



美術教師  
 ペインター

地元を実際に見て・触って・味わって得た感動を伝える絵がたくさん生み出されていく様子が、胸がいっぱいになりました。IZUCCOの皆さんの豊かな発想力を形にするお手伝いができて光栄です！

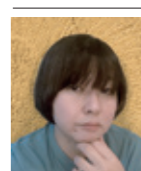
有川 美紀子



フリーランスライター

私が驚いたのはIZUCCOの子どもたちの文章力です！この中から作家やジャーナリストが生まれるかも思っただけです。これからも、文を書くときに表現の仕方や人への伝え方を考えながら、文章を書き続けていって下さいね。

三枝 暁子



アートディレクター  
 Jittadesign 代表

すべてのことは「興味をもつ」ところからだと思います。自分が誰と会い、話し、何を見るか。常に相手と向き合いながら、素敵なところを探し、見つける。そんなふうに分の住んでいる場所を楽しみ、誰もが成長していけたらいいですね！

## IZUCCO vol.3

2022年11月発行

発行 者 / IZUCCO 制作実行委員会  
 編集 / IZUCCO 制作実行委員会  
 制作 / IZUCCO 制作実行委員会  
 デザイン / 三枝暁子 ( Jittadesign )

協 力 / 伊豆の国市市民提案型パートナーシップ事業、  
 9izu、ISABUYA CREATIVE、  
 トヨタユニテッド静岡株式会社伊豆の国店、  
 株式会社わたしたち ※順不同・敬称略  
 後 援 / 伊豆の国市、伊豆の国市教育委員会 ※順不同・敬称略  
 協 賛 / 伊豆中央倫理法人会、堀江歯科医院、  
 菊地悠子 ※敬称略

お問い合わせ / IZUCCO制作実行委員会  
 〒410-2124 静岡県伊豆の国市原木627  
 mail : [info@izucco.com](mailto:info@izucco.com)  
 TEL : 055-900-1195 (代表 中野あゆみ)

<https://izucco.com>

